



## 発行にあたって

当社は2021(令和3)年10月15日をもちまして、創立125周年を迎え、このたび、これを記念して「つぎの未来へ 川崎重工業株式会社百二十五年史」を発行いたしました。

当社の正史としては、1936(昭和11)年に「川崎造船四十年史」、1959年に60年史として「川崎重工業株式会社社史」、1997(平成9)年に「夢を形に 川崎重工業株式会社百年史」を発行しております。今回の百二十五年史では、百年史以降の会社・製品・技術の変遷を中心に記述しております。

当社グループは1896(明治29)年の創立以来、125年にわたり、陸・海・空の幅広い事業分野で、ものづくりを通じて高い技術・知見を培ってきました。それぞれの時代において、最先端の技術をベースに、常に世界の人々の多様な要望に応える製品・サービスを時代の変化に合わせて提供してきました。

いま、世界は激動の変革期を迎えています。今後も新たな時代の社会課題を的確にとらえ、お客様の「期待と信頼」に応じて課題を解決していくために、世の中の変化にタイムリーに応え、新たな付加価値を届けることが必要と考えています。そこで、先般、2030年に目指すべき企業像として「つぎの社会へ、信頼のこたえを」というビジョンを制定いたしました。この言葉には「刻々と変わる社会に、革新的なソリューションをタイムリーに提供し、希望ある未来をつくっていく」、

「様々な枠を超えスピーディに行動・挑戦することで、自らの可能性を拡げ成長し続けていく」という意味が込められています。

「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」という当社グループの創始者、川崎正蔵の理念にもありますように、事業を通じた社会課題解決は当社の使命であり脈々と受け継がれてきたDNAでもあります。このDNAを胸に、常にお客様とともに迅速にソリューションを考え、新たな製品・サービスを世に送り出し、企業価値を向上させ、「つぎの社会に、信頼のこたえを」出せるよう、これからも時代が求める役割を果たしていく所存でございます。

最後に、すべてのステークホルダーの皆様の長年にわたる温かいご指導とご厚情に深く感謝申し上げます。本書を通じて当社グループの活動に対してさらにご理解を深めていただけますことを念願するとともに、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、発行のご挨拶とさせていただきます。

2022年6月

川崎重工業株式会社

代表取締役社長執行役員 橋本 康彦